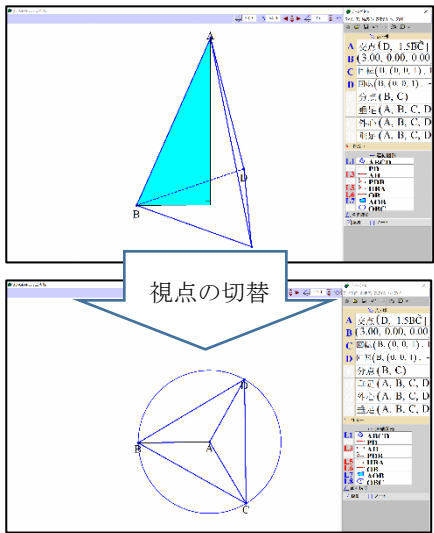


令和4年度 1人1台端末の活用による実践事例

学 校 名		岡山県立倉敷商業高等学校	
実践者等		齋藤 靖夫	実践日 令和4年4月22日
実践場面 (教科・科目(単元名)、学校行事等)		数学・数学Ⅱ (数学Ⅰ 図形と計量の復習)	
対象生徒 (学年等)		商業科2年	
育成を目指す資質・能力		☐ 知識・技能 ☒ 思考力・判断力・表現力等 ☒ 学びに向かう力・人間性等	
分類	授業中	☐ クラウドやアプリの活用 ☐ デジタルデータの保存 ☐ 思考やデータの可視化	
		☐ データの共有や共同編集 ☐ 対話を充実させる活用 ☒ 思考を促す活用	
		☐ 表現を充実させる活用 ☒ 課題のやり取りと評価の支援 ☒ 効率化や省力化	
	☒ その他 (オンライン授業)		
家庭学習		☐ 振り返り ☐ 探究 ☐ 反転学習 ☒ 補習・定着	
実践の内容			
【授業】 (1) 演習問題に取り組む ・ グループで問題集の演習問題に取り組む。 ・ 三角錐の体積を求めるために、垂線を下ろし直角三角形を作り、高さを求める考え方を <u>GRAPES 3D</u> を用いて視点をを変えることを視覚的にヒントを与える。 (2) 演習問題の解説 ・ <u>GRAPES 3D</u> を用いて、直角三角形の1辺が外接円の半径になっていることを、外接円を表示することで視覚的に説明する。 (3) 習熟度別の家庭学習について指示する ・ 本時の理解度を確認させ、<u>Google Classroom</u>に(基本)、(演習)、(発展)の三段階の課題と解説動画があることを指示し、自分の習熟度に合わせた問題に取り組む、写真を提出するように指示する。 			
※本時に関しては、学級閉鎖中のクラスにおいてオンライン授業でも実施可能であった。			
【本時と家庭学習との連動】 (本時前) 問題集の解説動画は <u>Google Classroom</u> にアップされており、授業中に理解できなかった部分について、日常的に復習ができるようになっている。 (本時後) 家庭学習の課題として、生徒は自分自身の理解度に合わせて、<u>問題を選択し演習問題に取り組む</u>。解説動画はヒント部分と解説部分に分かれており、ヒントだけを見て諦めずに考えられるようになっている。			